

URBAN-REPORT

<http://www.urbankk.co.jp>

発行人 懶アーバン企画開発 三戸部 啓之

色の与える心理

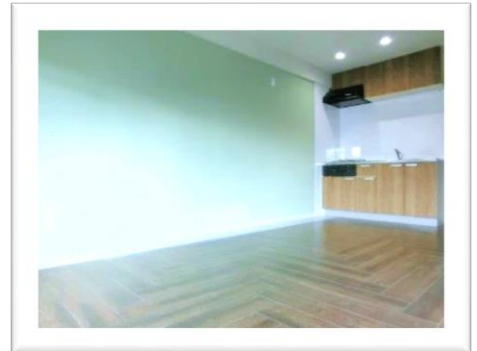
一般社団法人 日本流行色協会が、2017 年 11 月 16 日“いい色”の日に 2017 年・2018 年を象徴するそれぞれの色を発表しました。昨年 2017 年の色はファッションやプロアクトで赤が目された結果【リーディングレッド】が、2018 年の色は混迷を極める時代に風穴を開けて明るく爽やかに進んでいきたいという気持ちを含めて【ビジョナリーミント】が選定されました。弊社では、さっそく 2017 年 12 月に引渡しをしたお部屋でミント色のクロスを使用してお部屋を作りました！



Leading Red



Visionary Mint



※ 印刷の為、実際の色とは多少異なって見えます。正確な色は色見本等をご確認下さい。

私が所属しているリニューアル事業部では、アクセントクロスやフロアタイルで色・デザインを取り入れてお部屋を作ることが多いです。常日頃より色に触れる機会が多く、自分の勉強のためにも色が与える心理についてまとめました。

◆ 白 <膨張色、進出色、柔軟色、軽量色>

白色は灰色や黒色と同じ無彩色の色です。光を反射する最も明るい白色は暗い色を引き立てます。信頼感や清潔感といったクリーンなイメージを与えるので高い好感度があります。白の真っ新な状態は始まりや出発といったスタートを印象付けます。



◆ 黒 <収縮色、後退色、強硬色、重量色>

黒色は白色や灰色と同じ無彩色の色です。黒は光を反射することなくすべての色を吸収・遮断します。周囲の色を引き締めて目立たせます。他の色に与える影響が強く、色を組み合わせたときには黒のイメージが上乘せられます。強さや権威、神秘的な雰囲気を感じさせる色ですが他の色に比べて負のイメージが存在的にあります。



◆ 灰 <柔軟色、沈静色>

灰色は他の色との協調性が高くどんな色にも馴染みます。自己主張せず周囲の色を引き立てる調和の色です。控えめな上品さがあります。白と黒の間にある色なので無彩色の色ですが有彩色を少し含んだ色も灰色の仲間に含まれるため色の範囲は広く捉えられています。



◆ 赤 <膨張色、進出色、温暖色、興奮色>

赤からは太陽や火の熱く活発なイメージが浮かびます。エネルギーを感じさせるアクティブな色です。人が生きるために必要なものと多く結びついている赤は、他のどの色よりも強い刺激があります。気分を高揚させる働きから元気を与えてくれたり、スポーツで闘争心を駆り立ててくれます。



◆ 青 <収縮色、後退色、寒冷色、鎮静色>

青からは空や海、水といった広大な自然のイメージが浮かびます。爽やかな空、生命の源の海、体に不可欠な水と接する機会が多い色です。好感度が高く、世界的に見ても一番人気が高い色の系統です。好む人が圧倒的に多く嫌う人が少ないというのも特徴となっています。



◆ 緑 <沈静色、重量色>

緑は安心感や安定、調和を表す色です。木や森などの自然の色でもあるので気持ちを穏やかにし、心をリラックスさせてくれます。黄色と青色の混色でも作られる緑は 2 つの色と似たイメージも持っています。控えめな色なので他の色とバランスがとれます。



◆ 黄 <膨張色、進出色、温暖色、興奮色、軽量色>

黄色は有彩色の中で一番明るい色です。光や太陽のイメージが浮かびます。見ているだけで心を弾ませ楽しい気分になさしてくれるのでコミュニケーションを円滑にしてくれます。知性を刺激し行動を活性化してくれます。昼夜問わず確認しやすいので注意の色として使われます。



◆ 橙 <膨張色、進出色、温暖色、興奮色>

橙色は赤色と黄色の中間に位置する色です。赤色と黄色のイメージの良い所だけを取ってきた色の中でのピタミ的な役割になっています。喜びや幸福感、親しみ、元気、明るといったポジティブな印象を強く受けるのでいろんなシーンで使えます。



◆ 桃 <進出色、温暖色、柔軟色、軽量色>

柔らかい優しい印象をもつ桃色は女性的なイメージが強くあります。心や体に満ち足りた気分をもたらしてくれます。合わないだろうと思っても実際に当ててみると意外とはまる意外性のある色です。色が及ぼすマイナス面があまり見当たらない色ですが、プラス効果も度を越えると鬱陶しくなります。



◆ 紫 <沈静色、重量色>

赤紫～青紫まで幅広い色域が紫と認定されます。青と赤が混ざり合い多様な色合いが生み出される紫は、感性を鋭くインスピレーションを高めてくれます。動の赤と静の青、相反する色が共存しているため「高貴と下品」「神秘と不安」など二面性をもっています。場面によって性格が変わる複雑な色です。



◆ 茶 <温暖色、重量色>

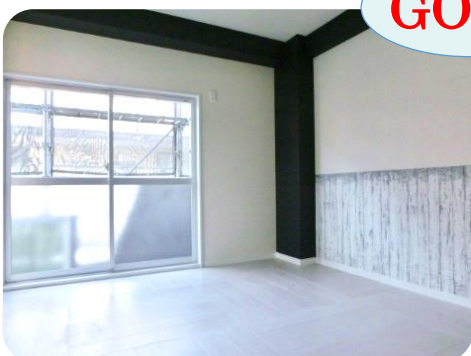
茶色は赤や橙といった暖色に黒が加わり暗くなった色です。赤と橙との境界が人によって様々で、幅広い範囲で捉えられています。木や土、大地といった自然を感じさせる茶色は温もりや居心地の良さといった安心感があります。空間の中に馴染み目立たずに調和します。



NG

近頃、賃貸住宅でも色やデザインを取り入れているお部屋が増えてきました。

ただし、アクセントクロスを一面のみ施工する場合は貼る場所や他の部分との色合いを考えないと壁だけが浮き上がって見えてしまうことがあります。例えば、左の写真だとアクセントクロスを貼った一面の主張が強く、圧迫感によりお部屋が狭く見えます。



GOOD



リニューアル事業部では直近でお引渡しをしたお部屋では、ナチュラルな色（白・茶・緑など）を使用しました。

弊社ではトータルでお部屋のコーディネートをさせて頂いています。色や間取り等、お部屋づくりにお悩みのことがありましたらお気軽にお問い合わせください！